



2016 春季生活闘争ニュース

2016. 3. 25 第4号 発行責任者 連合北海道組織労働局

「賃上げ」こそが最大の景気対策！

2016春闘の最大のヤマ場である第1 先行組合回答ゾーン及び第2 先行組合回答ゾーンに合わせ、連合北海道は3月16、18、22、24日、札幌市内で街頭宣伝活動を展開、さらに全道各地でも街頭での行動やテープ街宣、地元商工団体等への要請行動を展開した。

3月22日、札幌駅前街頭演説に立った連合北海道出村会長は、「デフレの大きな要因の一つは、非正規の拡大や実質賃金の低下など痛んだ雇用にあり、経済の好循環を実現するためには、賃金引き上げこそ最大の景気対策である」と訴えた。さらに、今春闘を通して拡大している中小と大企業間の賃金格差を是正すること、非正規労働者の処遇改善を図ることの意義を強調し、「底上げ」「底支え」によって働く者の生活・職場環境を整えることの重要性を市民に呼びかけた。



連合北海道 出村会長



石狩地協 太田会長

連合石狩地域協議会の太田会長は24日、札幌大通公園で実施した街頭演説において石狩地協としての春闘の取り組みを訴えた他、「クラシノソコアゲ応援団」として様々な課題を提起。介護労働者や保育士の低すぎる賃金水準、厳しすぎる看護師の労働条件など、社会に必要な労働が不当に軽く扱われていると指摘し、今こそすべての働く者の処遇改善が必要と訴えた。

また、安倍政権の下で大切な年金原資がリスクの高い株価操作に使われており、将来の年金支給に重大な悪影響が出る恐れがあると厳しく批判した。

＝連合釧根地協が経営団体等に要請行動を実施＝

連合釧根地協は3月24日、釧路地方経営者協会に対し「すべての労働者の賃金・労働条件に関する要請」行動を実施、地協からは浅野会長以下四役、経営者協会からは中小部会長、副部会長など10名が出席した。

地域における経済団体との労使懇談会（意見交換の場）は今年からの取り組み。「地域の活性化には地域の中小企業の活性化が不可欠」であるとともに、労働組合のない経営者にも「格差是正」「底上げ」「広がり」を訴える意味からも重要な取り組みとなっている。

＝公正取引委員会道事務所及び道経済産業局への要請行動＝

連合北海道は3月31日、公正取引委員会道事務所及び中小企業庁（道経済産業局）に対し、「公正な取引慣行の実現に向けた要請」を行う。大手企業と中小の賃金格差は企業の収益格差（支払格差）によるところが大きい。この要因の一つに、価格転嫁拒否や優越的地位濫用など不公正な取引慣行があることから、これまでの通報窓口の設置などに加えて、公正取引の実現を関係機関に強く要請するもの。フード連合、UA ゼンセンなどの役員も参加する。

3月第3週からの第1 先行組合回答ゾーン、第4週からの第2ゾーンを経て、来週からは中小の集中回答ゾーンに入ります。経営者側の世界経済の停滞や円高等による「先行き不安」発言など厳しい状況がありますが、「過年度物価上昇率がゼロに近い中で3年連続して月例賃金の改善原資を獲得したことは最大の成果」（連合神津会長）であり、非正規労働者の賃金改善にも昨年を上回る成果が見られることから、今後、あらゆる行動を展開して「持続性」「広がり」を後続組合や未組織労働者へ波及させていくことを目指す必要があります。頑張りましょう！

